

学校名	階上町立赤保内小学校 3
授業者	竹井亮太

6. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

6-1. 単元名

絶滅が危惧される海洋生物

6-2. 学年

第5学年

6-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

6-4. 単元の概要

7月に全校遠足として白浜海岸や種差海岸を歩いた。白浜海岸は海水浴場になっており、たくさんのごみが落ちていた。ごみ拾い活動をすることにより、きれいな海を守っていこうとする態度を育てることができた。また、海にごみが落ちていることでどんな大変なことがあるのかを考えていく授業を展開した。人間の生活の身勝手さが他の生物の命を奪うことにつながり、人間は他の生き物と共生していくためにどんなことに気を付けなければならないのかを考える機会にするための発表会を開いた。

6-5. 単元設定の理由・ねらい

海の中にはどんな生き物がいるのか、その生き物を守るためにはどうすればよいのかを考えることができるようにするため、本単元を設定した。

6-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 知識・技能 海にはどんな生き物が住んでいるのか調べ、理解することができる。
- (2) 思考・判断・表現 生き物を守るためにどのような活動をしたらよいか考えることができる。
- (3) 主体的に学習する態度 生き物が住む環境について知り、守ろうとする態度を身に付ける。

6-7. 単元の展開（全12時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	◎全校遠足の振り返りをする <ul style="list-style-type: none"> ・海岸でごみ拾いをした感想を発表する。 ・海に住む生き物の気持ちを考える。 ・絶滅しそうな生き物がいることを知る。 →「海の生き物が住む環境を調べたい」	【教師の指導】 遠足の写真を見せて振り返りをさせる。これからもきれいな海を守るために活動できそうなことを考えさせる。 【評価】 きれいな海を守りたいと考えている。
2	◎絶滅しそうな生き物について調べる計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容や方法を考える。 ・種類、育ち方などを調べたい。 ・インターネットや図鑑で調べたい。 ・グループを構成する。 	【教師の指導】 どんな内容や方法で調べるのか見通しをもって計画を立てることができる。 【評価】 見通しをもって調べる内容や方法を考えている。
3 7	◎どんな生き物が住んでいるのか調べる <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで調べる。 ・図鑑で調べる。 ・友達と情報を共有する。 	【教師の指導】 インターネットを使って調べる方法を指導する。図鑑での調べ方を指導する。 【評価】 生き物が住む環境について調べ、大事な部分をメモしている。
8 10	◎発表会の準備をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを画用紙にまとめる。 ・友達とまとめ方についての情報共有をする。 	【教師の指導】 調べた情報を整理して発表用紙にまとめさせる。内容が伝わりやすい書き方の指導をする。 【評価】 情報を整理・分析し、わかりやすく伝える方法を考えている。
11	◎発表会の練習をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・個々で練習をする。 ・友達の発表を聞く。 	【教師の指導】 発表の仕方を指導する。 【評価】 効果的に発表する方法を考えている。
12	◎発表会を開く。 <ul style="list-style-type: none"> ・5学年が発表する。（繰り返し発表する） ・6学年の発表を聞く。（2回発表する） ・感想を伝え合う。 	【教師の指導】 話し方や聞き方などのポイントを指導する。 【評価】 しっかり伝わるように話し方に気を付けて発表をしている。他の学年の発表を聞き、積極的に質問や感想を述べている。

7. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

7-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

7-2. 本時の目標

- ・海に住んでいる生き物について、わかりやすく発表をすることができる。（思考・判断・表現）
- ・他の学年の発表を聞いて、海を守ることの大切さを感じることができる。（主体的に学習する態度）

7-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 学習のめあてや発表会の仕方を確認する。各学年の発表のガイダンスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッション形式で発表をする。 ・5、6年生の児童がこれまでに学習してきた経過を知る。 	<p>1 発表会の進め方を説明する。話し方や聞き方の指導をする。それぞれの学年が学習してきた経過や学ぶことの意義を、プレゼンテーション・ソフトを使って説明する。</p>
<p>2 5年生が発表する。（数回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマノガワテンジクダイ、ジュゴン、アメリカナナティなど絶滅危惧種の生き物について発表する。 ・人間による乱獲や環境の変化が原因で絶滅のおそれがある生き物が存在する。 	<p>2～3 各グループの発表者にわかりやすい発表の仕方を助言し、児童が意欲的に話す・聞くことができるように声がけをして支援する。</p> <p>【評価】・わかりやすく発表をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を守ることの大切さを感じている。（発表、ワークシートより）
<p>3 6年生が発表する。（7分×2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海でのプラスチックごみ問題、海が汚れる原因、地球温暖化問題について発表する。 ・自分たちの生活が地球全体の環境を変え、他の生き物の生態環境に影響する。 	
<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海に住む生き物を守るために、自分たちの生活を変えていかなければならない。 	<p>4 5年生と6年生の学習内容を関連づけ、地球環境を守っていくことの大切さを感じさせる。</p>

8. 今回の活動の自己評価

- ごみ拾い活動をこれまで行ったことがなかったので、今回の海岸清掃は意欲的に取り組むことができた。これからも清掃活動を行いたいと感想を述べる児童が多かった。(主体的に学習する態度)
- 水族館に行ったことがある児童は多いが、インターネットや図鑑で生き物の生態を調べることは初めての経験であり、海という環境、自然の中での生き物のつながりや人間社会とのつながりを知ることができた。(知識・技能)
- 発表会を開くという目的意識をもって調べ、まとめることで学習意欲を継続させることができた。(主体的に学習する態度)
- 発表会では6年生の児童の発表を聞くことにより、より深く環境問題を考える視点を与えられた。自分たちが調べて考えてきた「人間の生活が原因で環境が変わること」と、6年生の児童が調べた内容の関連性に気付くことができた。(思考・判断・表現)

9. 今後の課題

- コロナ禍により保護者や地域の方を招待する発表会の実施ができなかった。児童の学びだけで終わらず、地域に対して学んだことを情報発信していきたい。
- 自己の生き方について振り返りをさせ、地球環境を守っていくために自分にできることを実践させていきたい。

10. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

学習内容報告書 フォーマット

学校名	階上町立赤保内小学校 2
授業者	中村三恵

11. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

11-1. 単元名

海のごみを減らす工夫

11-2. 学年

第4学年

11-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

11-4. 単元の概要

7月に全校遠足として白浜海岸や種差海岸を歩いた。白浜海岸は海水浴場になっており、たくさんのごみが落ちていた。ごみ拾い活動をすることにより、きれいな海を守っていこうとする態度を育てることができた。また、海にごみが落ちていることでどんな大変なことがあるのかを考えていく授業を展開した。海のごみがなぜ多いのか、減らすためにはどうしたらよいか、方法を調べ、まとめたものを発表した。

11-5. 単元設定の理由・ねらい

海のごみを減らす工夫としてどんなものがあるのか、そして、自分たちの生活とどんなにかかわりがあるのかを考えさせるため、本単元を設定した。

11-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 知識・技能 海のごみを減らす工夫にはどんな方法があるのか調べ、理解することができる。
- (2) 思考・判断・表現 自分たちの生活とどんなにかかわりがあるのか考えることができる。
- (3) 主体的に学習する態度 海という自然環境を大切に守ろうとする態度を身に付ける。

11-7. 単元の展開（全12時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	◎全校遠足の振り返りをする ・海岸でゴミ拾いをした感想を発表する。 ・海にゴミが落ちていた原因を考える。 →「海のごみを減らす工夫を調べたい」	【教師の指導】 遠足の写真を見せて振り返りをさせる。これからもきれいな海を守るために活動できそうなことを考えさせる。 【評価】 きれいな海を守りたいと考えている。
2	◎海のごみを減らす工夫について調べる計画を立てる。 ・調べる内容や方法を考える。 ・ゴミの量、ゴミが多い原因などを調べたい。 ・インターネットや本で調べたい。 ・グループを構成する。	【教師の指導】 どんな内容や方法で調べるのか見通しをもって計画を立てることができる。 【評価】 見通しをもって調べる内容や方法を考えている。
3 7	◎ごみを減らす工夫について調べる ・インターネットで調べる。 ・本で調べる。 ・グループで情報を共有する。	【教師の指導】 インターネットを使って調べる方法を指導する。本での調べ方を指導する。 【評価】 ごみを減らす工夫について調べ、大事な部分をメモしている。
8 10	◎発表会の準備をしよう ・調べたことを画用紙にまとめる。 ・グループでまとめ方を話し合う。	【教師の指導】 調べた情報を整理して模造紙にまとめさせる。内容が伝わりやすい書き方の指導をする。 【評価】 情報を整理・分析し、わかりやすく伝える方法を考えている。
11	◎発表会の練習をしよう ・グループで練習をする。 ・他のグループの発表を聞く。	【教師の指導】 発表の仕方を指導する。 【評価】 効果的に発表する方法を考えている。
12	◎発表会を開く。 ・3学年の発表を聞く。 ・4学年の発表をする。（2回発表する） ・感想を伝え合う。	【教師の指導】 話し方や聞き方などのポイントを指導する。 【評価】 しっかり伝わるように自分のグループの発表をしている。他の学年の発表を聞き、積極的に質問や感想を述べている。

12. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

12-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

12-2. 本時の目標

- ・海のごみを減らす工夫について、わかりやすく発表をすることができる。（思考・判断・表現）
- ・他の学年の発表を聞いて、海を守ることの大切さを感じることができる。（主体的に学習する態度）

12-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 学習のめあてや発表会の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッション形式で各グループが発表をする。 ・3年生からの質問に答える。 	<p>1 発表会の進め方を説明する。話し方や聞き方の指導をする。</p>
<p>2 3年生が発表する。（7分×2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カクレマノミ、シャチ、クジラ、タコ、クロマグロ、カニの生態について発表する。 ・海の中では生き物が他の生き物を食べることで命をつないでいる。 	<p>2～3 各グループの発表者にわかりやすい発表の仕方を助言し、児童が意欲的に話す・聞くことができるように声かけをして支援する。</p> <p>【評価】・わかりやすく発表をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海を守ることの大切さを感じている。 <p>（発表、ワークシートより）</p>
<p>3 4年生が発表する。（7分×2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海でのプラスチックごみ問題、海が汚れる原因、日本や世界のごみ問題について発表する。 ・自分たちの生活から出るごみが海の生き物の命をうばう。 	
<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海にはたくさんの生き物がいる。 ・人間の生活と海の生き物の命はつながっている。 	<p>4 3年生と4年生の学習内容を関連づけ、海を守っていくことの大切さを感じさせる。</p>

13. 今回の活動の自己評価

- ・ごみ拾い活動をこれまで行ったことがなかったので、今回の海岸清掃は意欲的に取り組むことができた。これからも清掃活動を行いたいと感想を述べる児童が多かった。(主体的に学習する態度)
- ・水族館に行ったことがある児童は多いが、インターネットや図鑑で生き物の生態を調べることは初めての経験であり、海という環境、自然の中での生き物のつながりを知ることができた。(知識・技能)
- ・発表会を開くという目的意識をもって調べ、まとめることで学習意欲を継続させることができた。(主体的に学習する態度)
- ・発表会では3年生の児童の発表を聞くことにより、より深く環境問題を考える視点を与えられた。そして、自分たちが調べてきたことと3年生が調べた内容との関連性に気付くことができた。(思考・判断・表現)

14. 今後の課題

- ・コロナ禍により保護者や地域の方を招待する発表会の実施ができなかった。児童の学びだけで終わらず、地域に対して学んだことを情報発信していきたい。

15. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特になし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

学習内容報告書 フォーマット

学校名	階上町立赤保内小学校 4
授業者	宍戸利徳

16. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

16-1. 単元名

地球温暖化による影響

16-2. 学年

第6学年

16-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

16-4. 単元の概要

7月に全校遠足として白浜海岸や種差海岸を歩いた。白浜海岸は海水浴場になっており、たくさんのごみが落ちていた。ごみ拾い活動をすることにより、きれいな海を守っていかこうとする態度を育てることができた。また、海にごみが落ちていることでどんな大変なことがあるのかを考えていく授業を展開した。人間の生活の身勝手さが他の生物の命を奪うことにつながり、人間は他の生き物と共生していくためにどんなことに気を付けなければならないのかを考える機会にするための発表会を開いた。ごみの中に外国のラベルが貼ってある物を見つけ、海が外国とつながっていることを実感した。

16-5. 単元設定の理由・ねらい

地球温暖化により、人間や海にすむ生き物が困ること、共生できる環境を守るためにはどうすればよいのかを考えることができるようにするため、本単元を設定した。

16-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 知識・技能 地球環境を守る方法について調べ、理解することができる。
- (2) 思考・判断・表現 地球環境を守るためにどのような活動をしたらよいか考えることができる。
- (3) 主体的に学習する態度 地球環境を守るために自己の生き方を振り返ることができる。

16-7. 単元の展開（全12時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	◎全校遠足の振り返りをする <ul style="list-style-type: none"> ・海岸でゴミ拾いをした感想を発表する。 ・海外からもゴミが流れついていることに気づき、地球規模で海が汚染されていることを知る。 ・温暖化も海の汚染と関連していることを知る。 →「地球温暖化の影響を調べたい」	【教師の指導】 遠足の写真を見せて振り返りをさせる。これからもきれいな海を守るために活動できそうなことを考えさせる。 【評価】 きれいな海を守りたいと考えている。
2	◎地球温暖化について調べる計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容や方法を考える。 ・原因や影響などを調べたい。 ・インターネットや図鑑で調べたい。 ・グループを構成する。 	【教師の指導】 どんな内容や方法で調べるのか見通しをもって計画を立てることができる。 【評価】 見通しをもって調べる内容や方法を考えている。
3 7	◎地球温暖化の影響について調べる <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで調べる。 ・図鑑で調べる。 ・友達と情報を共有する。 	【教師の指導】 インターネットを使って調べる方法を指導する。図鑑での調べ方を指導する。 【評価】 地球温暖化を防ぐ方法について調べ、大事な部分をメモしている。
8 10	◎発表会の準備をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを模造紙にまとめる。 ・友達とまとめ方についての情報共有をする。 	【教師の指導】 調べた情報を整理して模造紙にまとめさせる。内容が伝わりやすい書き方の指導をする。 【評価】 情報を整理・分析し、わかりやすく伝える方法を考えている。
11	◎発表会の練習をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・グループで練習をする。 ・友達の発表を聞く。 	【教師の指導】 発表の仕方を指導する。 【評価】 効果的に発表する方法を考えている。
12	◎発表会を開く。 <ul style="list-style-type: none"> ・5学年が発表する。（繰り返し発表する） ・6学年の発表を聞く。（2回発表する） ・感想を伝え合う。 	【教師の指導】 話し方や聞き方などのポイントを指導する。 【評価】 しっかり伝わるように話し方に気を付けて発表をしている。他の学年の発表を聞き、積極的に質問や感想を述べている。

17. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

17-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

17-2. 本時の目標

- ・地球温暖化と海の環境のつながりについて、わかりやすく発表をすることができる。（思考・判断・表現）
- ・他の学年の発表を聞いて、海を守ることの大切さを感じることができる。（主体的に学習する態度）

17-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 学習のめあてや発表会の仕方を確認する。各学年の発表のガイダンスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッション形式で発表をする。 ・5、6年生の児童がこれまでに学習してきた経過を知る。 	<p>1 発表会の進め方を説明する。話し方や聞き方の指導をする。それぞれの学年が学習してきた経過や学ぶことの意義を、プレゼンテーション・ソフトを使って説明する。</p>
<p>2 5年生が発表する。（数回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマノガワテンジクダイ、ジュゴン、アメリカナナティなど絶滅危惧種の生き物について発表する。 ・人間による乱獲や環境の変化が原因で絶滅のおそれがある生き物が存在する。 	<p>2～3 各グループの発表者にわかりやすい発表の仕方を助言し、児童が意欲的に話す・聞くことができるように声がけをして支援する。</p> <p>【評価】・わかりやすく発表をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を守ることの大切さを感じている。（発表、ワークシートより）
<p>3 6年生が発表する。（7分×2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海でのプラスチックごみ問題、海が汚れる原因、地球温暖化問題について発表する。 ・自分たちの生活が地球全体の環境を変え、他の生き物の生態環境に影響する。 	<div style="text-align: center;">  </div>
<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海に住む生き物を守るために、自分たちの生活を変えていかなければならない。 	<p>4 5年生と6年生の学習内容を関連づけ、地球環境を守っていくことの大切さを感じさせる。</p>

18. 今回の活動の自己評価

- ごみ拾い活動をこれまで行ったことがなかったので、今回の海岸清掃は意欲的に取り組むことができた。これからも清掃活動を行いたいと感想を述べる児童が多かった。(主体的に学習する態度)
- 水族館に行ったことがある児童は多いが、インターネットや図鑑で生き物の生態を調べることは初めての経験であり、海という環境、自然の中での生き物のつながりや人間社会とのつながりを知ることができた。(知識・技能)
- 発表会を開くという目的意識をもって調べ、まとめることで学習意欲を継続させることができた。(主体的に学習する態度)
- 発表会では5年生の児童の発表を聞くことにより、より深く環境問題を考える視点を与えられた。自分たちが調べて考えてきた「人間の生活が原因で環境が変わること」と、5年生の児童が調べた内容の関連性に気付くことができた。(思考・判断・表現)

19. 今後の課題

- コロナ禍により保護者や地域の方を招待する発表会の実施ができなかった。児童の学びだけで終わらず、地域に対して学んだことを情報発信していきたい。
- 自己の生き方について振り返りをさせ、地球環境を守っていくために自分にできることを実践させていきたい。

20. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。